

県立高等技術専門校における吹付けアスベスト等使用実態

調査について

平成17年11月16日

商工労働部産業人材課

043 - 223 - 2756

千葉県商工労働部では、県立高等技術専門校8校における吹付けアスベスト等使用実態調査を行ってきたところです。

中間報告時には確認中であった障害者高等技術専門校において含有率1%を超えるアスベストの使用が確認されました。

しかしながら、空気中の浮遊濃度調査を実施したところ、アスベストは測定されませんでした。

1 調査結果

(1) 障害者高等技術専門校の状況(生徒数69名、平成17年11月1日現在)

使用箇所	使用面積	部位	アスベスト種類	含有率 (%)	濃度 (本/リットル)
大教室(1室)	369.4m ²	天井	クリソタイル(白石綿)	64.0	0.3未満
教室(5室)	437.4m ²	天井	クリソタイル(白石綿)	9.8	0.3未満
寮通路(3箇所)	20.2m ²	天井	クリソタイル(白石綿)	9.8	0.3未満

濃度測定下限値は0.3本/リットル

(2) 経緯

- 8月11日 障害者校においてアスベストの使用を図面により確認し、専門機関に調査依頼
- 8月22日 専門機関による成分分析の調査実施
- 10月5日 県立高等技術専門校アスベスト等使用実態調査中間報告(障害者校調査中)
- 11月1日 成分分析結果により、含有率1%を超える使用が判明し、専門機関にアスベスト濃度測定の実施依頼
- 11月16日 校施設内でのアスベスト浮遊濃度結果判明(速報0.3未満)

2 対応

- (1) 大教室のアスベストは、柔らかい材質が使用されているが、現状では飛散の恐れは低いものと思われる。しかし、万全を期して教室は閉鎖した。
- (2) 教室5室及び寮通路3箇所については、全体的には硬く固められているため、今後も飛散の恐れは少ないと思われるが、一部劣化している箇所についてペイント補修等の応急措置を実施する。
- (3) 確認されたアスベストは、今後、除去等の抜本的な対応を検討する。